



● **名古屋学院大学同窓会会報** ●

★名古屋学院大学同窓会★

**第7回ホームカミングデー
のご案内**

日時 11月3日(日)午後12時より14時まで
場所 名古屋学院大学「思星館」(第2食堂)
(チャペル前の建物です)参加費無料

恒例となりました、同窓会の最大の事業であります、ホームカミングデーを、今年も11月3日(日)に開催させて頂きます。

回をかさねることに参加者も多くなり、とても楽しいホームカミングデーになってきました。又、当日は大学祭期間中でもありキャンパスはたいへん賑わいです。昨年も、学長、理事長、恩師の方々や、教職員、卒業生とその家族と多数の参加者があり盛大に行われました。今年も是非あなたもご家族といっしょに参加してみませんか。もちろん無料です。

各サークル、クラブのOB会を当日に大学で行い、それから先生、部長、監督と一緒にはホームカミングデーに参加される卒業生もお見えになります。各OB会でのそのような企画も考えて頂き、より多くのご参加をお待ちしています。

そして今年も、今までよりも料理、飲物等の内容も数層も多く用意させて頂きますので、きつとご満足頂けることと思えます。

又、アトラクションも、現役学生との交流を深める為、吹奏楽部、グリーンクラブ、マンドリンクラブ、民俗舞踊部の出演、さらに写真部、美術部、商業デザイン部、陶芸同好会の作品の展示も行います。そして、入試相談コーナーの設置も予定しています。OBの皆様方の子供さんの進学につきましても職員の方々が親切にアドバイスして頂けますので是非参加してご相談ください。

より大きく発展をした母校を見つ、先生方、職員の方々、OB同志、なつかしい話をし、おおいに交流を深め、楽しい時を過ごしましょう。多数のご参加を心より願っています。



名学大祭開催!!

今年も11月2日(土)、3日(日)、4日(祝)の3日間、名学大祭が開催されます。32回目の今年にあたるテーマは「ありがとう」純粋に、足を運んでくれた人たちに楽しんでほしい、最後に「楽しかったよ、ありがとう」といつてもらえるようなイベントを考えています。内容を少し紹介しますと、講演会には、放送作家でありながら、お笑い劇団「ワハハ本舗」を創設された喰始(たべはじめ)さんを招き、豊富な人生経験を話していただく予定です。またコンサートは、かの香織さんに美声を披露してもらおうと思っっています。もちろん、ホームカミングデーが開催される11月3日にも、瀬戸の子供達による子供太鼓など十分楽しめるイベントを考えています。他にも、一般参加ゲームや教室展示、模擬店、チャリティイー企画などを考えております。是非、一度足を運んで「ありがとう」との意味を感じてみてください。



● **講演会**

喰始(たべはじめ)

11月2日 15:00~

名古屋学院大学 栄光館
無料

● **コンサート**

かの香織

11月4日 15:00~

名古屋学院大学 栄光館
前売り 1,800円
当日 2,000円

● **後夜祭**

11月4日 17:00~

名古屋学院大学 麦粒苑

※他に2005年万葉についての展示会等開催

同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの年会費及び卒業生からの入会金、会費で運営されております。

最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力頂けるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、昨年10月の役員会におきまして、平成8年度より、正会員のうち、年会費5千円(1万円)以上を納入して頂いた方を終身会員とし、

その方には今後年会費の請求をしないということ、および、1997年3月以降の卒業生につきましては、卒業時に終身会費2万円を徴収し、それ以降の会費を請求しないことが承認されました。

現在毎年2千円の年会費の請求をさせて頂いておりますが皆様方も是非この機会に終身会員となって頂くことをお勧め致します。

なお、1991年3月時点で、敬愛同窓会の終身会員であった方は当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

名古屋学院大学同窓会会則

昭和55年10月18日制定
1990年7月20日改正
1994年7月21日改正
1995年6月16日改正

第1章 総則

(会の名称)

第1条 本会は名古屋学院大学同窓会と称する。

(本会および支部)

第2条 本会は本会を名古屋学院大学内に置き、支部を必要な地に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の親睦をはかり、母校発展充実に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦に関する事業
- (2) 学生への援助に関する事業
- (3) 大学への援助および協力
- (4) 会員名簿の発行
- (5) その他前条の目的を達成するための必要な事業

第2章 会員

(会員)

第5条 本会は次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 名古屋学院大学を卒業した者、および在籍した者で理事会の承認を受けた者
- (2) 準会員 名古屋学院大学在籍生
- (3) 特別会員 理事会の承認を受けた者

(資格喪失)

第6条 会員は次の事項によって資格を喪失する。

- (1) 退会 (退会届を提出し、理事会で承認された者)
- (2) 死亡および失踪宣告を受けた者
- (3) 除名

イ、本会の名譽を傷つけ、または本会の目的に反する行為があり、理事会で決議された者

第3章 役員

(役員)

第7条 本会には次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以内(うち会長1名、副会長3名以内)
- (2) 監事 2名以内

(役員の選任)

第8条 本会の役員の選出は次の方法による。

- (1) 会長 理事の互選により選出し、総会の承認を求める
- (2) 副会長 理事の互選により選出し、総会の承認を求める
- (3) 理事 代議員の互選により選出し、総会の承認を求める
- (4) 監事 会員のうちから理事会の推薦により委嘱する(顧問)

第9条 顧問は学長、および本会に功労があった者から理事会の委嘱により若干名置くことができる。

(役員の職務)

第10条 役員の職務は次のとおりである。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総理する
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する
- (3) 理事は理事会に出席し、代議員会の議決を要する事項、その他重要な事項を協議、審議する
- (4) 監事は事業および会計事務について監査する(役員の内)

第11条 役員の内、任期は2年とする。但し、補充によって就任した役員の内、前任者の残任期間とする。

2.前項の再任を妨げない。

(理事会)

第12条 理事会は理事、監事をもって組織する。

2.理事会の任務は次のとおりとする。

- (1) 総会または代議員会の議決を要する案件の事前審議
- (2) 前項の必要のない案件の審議決定
- (3) 本会則に規定のない事項の審議決定
- (4) 事務局の処理する会務に対する審議

3.理事会は、出席理事をもって成立し、議決は過半数をもって決定する。可否同数のときは議長の決するところに従う。

4.前項の議決は、委任状の行使を妨げない。

第4章 代議員会

(代議員の選出)

第13条 代議員の各卒業年度の会員から改選前年の理事会で選出する。

(代議員の任期)

第14条 代議員の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。

(代議員会)

第15条 代議員会は、次の議決および承認を行う。

- (1) 事業報告および収支決算
- (2) 事業計画および収支予算
- (3) 会則の改廃
- (4) 理事の選出
- (5) その他理事会において必要と認められた事項

2.代議員会は出席代議員をもって成立し、議決は過半数をもって決定する。ただし、可否同数の場合は議長がこれを決定する。

第5章 総会

(総会)

第16条 総会は原則として毎年1回開催する。

但し、当分の間総会は代議員会をもって開催することができる。議長は会長がその任にあたる。

- 2.会長が必要と認めるとき、臨時総会を開催することができる。
- 3.総会の議決は過半数をもって決する。可否同数のときは議長の決するところに従う。
- 4.総会において議決および承認する事項は次のとおりとする。

- (1) 事業報告および収支決算

- (2) 事業計画および収支予算
- (3) その他理事会において必要と認められた事項

第6章 事務局

(事務局)

第17条 本会の事務を処理するため事務局を置くことができる。

2.事務局長は理事会で選定し、委嘱する。

3.本会は、次の権限を指える。

1. 会員名簿、記録簿、会計簿、役員名簿

4.事務局の運営については別の定める内規による。

(事業部)

第18条 本会の目的を達成するため事業部を置くことができる。

第7章 会計

(会費等)

第19条 本会の収入は次のとおりとする。

- (1) 会費(別に定める)
- (2) 事業に伴う収入
- (3) 資産から生ずる果実
- (4) 寄付金その他の収入

2.すでに納入した会費等は、理由の如何にかかわらずこれを返還しない。

(会計)

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第8章 支部

(支部の結成)

第21条 本会の会員は、理事会の議を経て地域別に支部を結成することができる。

2.前項により結成された支部は、一定の事務所を設け、組織を定めて役員をおかなければならない。

3.支部は定期的に活動状況を本年に報告しなければならない。

附則

この会則は、1995年4月1日から施行する。

1996年度名古屋学院大学同窓会 理事・監事

理事	伊藤 博哉	70E	出会長
理事	坂本 久	70H	
理事	山本 茂一	70E	副会長
理事	古部 肇一	71E	会長
理事	富田 博史	71E	出会長
理事	長瀬 八郎	71H	総務委員長 兼 事務局長
理事	笠井 修	73E	
理事	下村 直一	73E	広報委員長
理事	伊藤 成	77E	事業委員長
理事	安藤 友一	79E	
理事	古川 雅彦	78E	
監事	木谷 文徳	80E	
監事	生物 豊作	70E	

21世紀に向けて大きく飛躍するNGU

御挨拶



同窓会会長 占部憲一

行楽の季節となつてまいりますが、同窓生の皆様におかれましては、ますますお元気で活躍のことと推察いたします。

母校、名古屋学院大学は、昨年30周年を迎え、学部も商学部、外国語学部が数年前に開設され、ますます充実してまいりました。

そして本年度は、大学院を設立するため、大学院棟建設などさまざまな準備がなされております。

さて、我々同窓会も、本年度新たに、一千六十九名の卒業生を迎え、二万三千名を越える会に成長してまいりました。本年同窓会役員の改選があり新たに理事、監事、代議員が選任され、私が再度会長に任命されました。微力ではございますが同窓会発展のため努力する所存でありますのでよろしくお願いたします。

今年も、例年通り大学祭に合わせ、ホームカミングデーを開催いたします。キャンパスはちよつと遠いと思いますが、大学祭のイベントを楽しみながら、新しくなった大学の姿を見て、旧交を温め合っていただければ幸いです。

本年度も、同窓会の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

名古屋学院大学

卒業生の諸兄が、各地でご活躍のこと、心からおよろこび申し上げます。大学の社会的評価は諸兄のご活躍にかかるところ非常に大であります。近年の社会情勢のもとで、いろいろとご苦労のことと存じます。その意味でも、諸兄は大学をになっておられる重要な一員であると存じます。だから、大学卒業生の諸兄とその組織体である同窓会は大学にとって、きわめて大切な存在です。

昨年、大学に理事長として参加することになりました。この重責を果たすためにも、卒業生諸兄のご協力を心から願うものです。同窓諸兄のご活躍もさることながら、大学の教育研究の内部的充実も、大学の社会的評価をたかめる重要な要因であるのは、いうまでもありません。その目標実現のため、教職員の方々のご協力をえて努力いたします。大学の創設期、数年にわたって非常勤講師として心理学の講義をしたことを思い出します。当時の学生諸君がまことに熱心に聴講した大教室の様子が目に浮かびます。当時からすでに二十年以上たちました。大学も着実に大きくなり、多くの先輩諸兄も社会の第一線で活躍しておられます。まことにこのほばしい限りで、この勢いをさらにたかめていきたいものです。

大学では三十周年記念事業の一環として、基金を募っています。よろしくご協賛いただきますよう、この場をお借りしてお願いたします。

同窓会の一層の発展と、同窓諸兄のご活躍を心から祈念してご挨拶いたします。

同窓会の一層の発展と、同窓諸兄のご活躍を心から祈念してご挨拶いたします。

同窓会の一層の発展と、同窓諸兄のご活躍を心から祈念してご挨拶いたします。

理事長 内山道明



大学同窓会会報は第七号、ホームカミングデーは第六回と回を重ねるなど、大学同窓会のご活躍が眼に見えるようになってきました。占部憲一会長はじめ役員の方々のご関係の方々のご苦勞とご努力に改めて深甚なる謝意を表します。

いま日本の経済社会システムは、戦後五十年を経て、大きな転換期を迎えています。情報化ひとつをとってみても、それは大方の予想を遙かに越える速さで進行しています。当然それは大学教育にも直接に関わってきて、例えば黒板とチョークだけの一方通行の講義は消えようとしています。ジャーナル(大学や研究所の機関誌)を出版する必要はなくなるのではないかと聞かれています。マルチメディアを活用した少人数教育によって、見せ、考えさせる教育、教員と学生がじかに接する教育ができ、そのことによって学習意欲は高まり、理解力は深まり、その意味では教育効果は大いにあがるかと期待されています。

しかしこれは光の部分であって、例えばマルチメディア・リテラシーによる文化の画一化、統一化の危険とか大変な問題を内包していますし、またマルチメディアによって個人の自由が個の確立といった真の意味での人間形成はできるのか、人間が尊ばれる社会をどのようににつくっていくのかといった本質的な問題は十分に議論されないままに、情報化が進行しています。これはいまの大学教育に問われはじめている大きな課題です。



このように時代は動いていきます。だから、キリスト教主義を標榜している本学もたゆみなく改革されていかねばなりません。大学構成員の内部努力はもろろんのことです。それだけに、大学同窓会の皆様方の更なるご理解とご協力を切望してやみません。

学長 横井弘美

クラブ紹介

アメリカン フットボール部

皆さん、アメリカンフットボールを御存知ですか。テレビでちらりと見たことはあるでしょうが、ルールを知っている人は少ないと思います。アメリカでは大変人気の高いスポーツで、日本でも最近注目されてきています。

アメリカンフットボールは、見ての通り体と体のぶつかり合いですから、人並みはずれた体力を要するのはもちろんのこと、それと同様に判断力、考察力も必要とされます。何故ならば、無数にあるプレーのフォーメーションを、攻撃側はその場その場の状況に応じて、瞬時に組み立て、また守備側は敵の行動を読んで対応しなければならぬからです。言わば、体力・頭脳を共用しなければならないファイナルスポーツなのです。

また、アメリカンフットボールのプレーは、一人一人が分業された役割をきちんと果たしてこそ成立するため、自分に合ったポジションについて、その能力を最大限に発揮できるのです。

私達は、最初は皆、初心者でしたが、OBや先輩方のアドバイスを熱心に聞き、メンバー一人一人をライバルと思い、常にチーム全体の力の向上に向けて練習してきました。そのおかげで昨年は東海リーグで悲願の二部優勝を果たし、入替戦まで進出することができました。傷しくも一部昇格には至らなかったものの、この事は無駄にはせず、今までの一部昇格の目標よりも更に先をいった、一部で成績を残せるチーム作りをめざしてがんばろうと思っています。

しかし、我がクラブの今の最大の悩みは、部員数が少ないことにあります。ですから、皆さんにアメリカンフットボールの楽しさを知ってもらい、新入生にたくさん入部してもらいたいです。4月からは春期リーグが始まります。アメフトに興味のある方はもちろん、全く知らない方も一度大学グラウンドへ足をお運び下さい。



ボクシング部



名古屋学院大学ボクシング部は、今年で31周年という伝統と実績のあるクラブです。部員は現在15名と決して多い人数ではありませんが、毎日声を掛け合い練習に励んでいます。その結果として、今年の春に行われました中部学生ボクシング選手権大会では2連覇を達成しました。そして現在は、次の秋の大会にも総合優勝できるように努力しています。

ボクシングというスポーツの批判の中に、命にかかわるくらい危険であるという声があります。しかし、私たちのやっているアマチュアボクシングはそのようなことはありません。健康と人間形成を目的とするスポーツなのです。プロボクシングと比較するならば、攻撃よりは防衛、



パンチよりもテクニック、むきだしの闘志よりもフェアマンスシップが尊重されます。鋭敏な神経と精妙なテクニックを誇り、スピーディで美しい攻防のリズムに恵まれたアマチュアボクシングは、健康と精神力をつちかう最適なスポーツです。でも、プロ・アマを問わず、ボクシングはルールの上でお互いに殴りあうということは共通しており、痛みを伴うスポーツです。しかし、人を傷つけ、時には傷つけられることでお互いの痛みを理解し、そのことが人に対してのおもいやりにつながるはずです。だから、最近問題となっているいじめや凶悪な犯罪などは、むしろ痛みというものを知らないことよって起こっているケースも多いのではないかと考えています。そういう意味でもボクシングというスポーツを通じて、逆に人間の生き方の一部を解ってもらえる部分があるのではないかと考えています。

大学生活において、ボクシングを通して学ぶことは非常に多く、社会に出た時にはいろいろな面で役に立つでしょう。そのためにもボクシングの発展と向上を願っています。

JAZZ研究会



JAZZ研究会は設立して6年目になりました。その名の通り様々なJAZZを聴いたり、演奏を行っています。JAZZ研ではひとつのグループが演奏するのではなく、曲に応じてメンバーを編成しています。主にスタンダードジャズを中心として曲も演奏していますが、最近のジャズに关連した音楽もやっています。



昨年音楽練習場が完成して、11月3日～5日に行われた、名学大祭に向けて練習をしてきました。特に大学祭直前は、夜遅くまで練習をし、本音に備えました。当日はOBにも参加していただき、楽しいライブになりました。

大学祭が終わり、これからはもっとあらゆるジャズを演奏したいと考えています。そのため、CDを聴いたり、名古屋のジャズクラブへ行ったりしてジャズに親しみたいと思います。同時に日頃の練習もしっかりやっていくことも大切です。そして更なるJAZZ研の演奏活動をやっていきたいと思っています。昨年はチャペル前でのストリートパフォーマンスがあまりできませんでした。これからはそういったライブ活動も増やし、できれば学外での演奏の機会があればやりたいです。部員は先輩、後輩の枠を超えて楽しくやっています。

ジャズに少しでも興味のある人はどんどん入ってきてほしいです。また今の3年生以下の部員には女性がいません。ジャズという男の音楽という感じがすると思いますが、美しい曲も沢山ありますので、女性でも気軽に入れるサークルを創っていきたくて考えています。みなさんも一度ジャズを聴いて見ませんか。きっと新しい音楽の世界が開けてくると思います。部室を盛り上げてくれる人、大歓迎です。

たくさんの人の入部を待っています。

1997年度入試要項

1997年度入試日程は下表の通りで、前年度との変更点は以下の通りです。

- ①経済学部・商学部・外国語学部英米語学科で従来の試験方式(96年度はA方式とする)に加え、B方式を新設しました。
- ◆経済学部B方式=国語、英語、地歴(日本史B又は世界史B)、数学から2教科を選択するアラカルト入試です。ただし、地歴と数学の組み合わせによる選択はできません。試験時間は2教科を同時に実施し、120分で行います。選択する教科は出願時の申請となります。

インターネットで世界に向けて情報発信

名古屋学院大学のホームページを公開

名古屋学院大学ホームページアドレス(URL)

<http://www.ngu.ac.jp/index.html>日本語ホームページ
<http://www.ngu.ac.jp/index-eng.html>英語ホームページ

1994年の第5期情報処理システムの導入にともなって整備された学内ネットワークシステムでは、インターネットとの接続を行い、e-mail、ネットニュース、遠隔地のコンピュータ利用など、さまざまなネットワークサービスを提供してきました。

昨年5月からは学外のWWW(World Wide Web)情報へのアクセスが可能となり、さらに、昨年10月には名古屋学院大学のホームページを開設し、インターネットを通じて全世界に向けて情報発信を始めました。

開設した名古屋学院大学ホームページには、大学案内、学部の紹介や研究機関・図書館の情報が満載されています。具体的には、イメージ画像を取り入れた「大学の情景」や「入試状況」「教員公募」「公開講演会案内」など大学からの広報媒体として、また、「研究成果」の発表の場として、学内外に向けて広く情報を発信しています。

ホームページには、学内・国内、さらには海外から、連日のように、多数のアクセスがあります。また、ネットワークのニュース記事やホームページへのアクセス統計情報は、毎日自動更新されており、常に最新の情報を得ることができます。

研究者や教育端末室から全世界の情報にアクセスできる環境を整えたことにより、居ながらにして世界中の情報を得ることができ、研究活動に大きく貢献しています。

また、教育においてもホームページの作成をゼミナールの研究テーマとしたり、学生が個人でホームページを開設するなど、「情報化時代にふさわしい人材を育成する」という目的が活実に実現されています。



- ◆商学部B方式=経済学部B方式とほぼ同様の形式により実施されます。英語が選択科目から外されているのが特徴です。従って国語、地歴(日本史B又は世界史B)、数学から組み合わせ自由で2教科を選択します。試験時間等は経済学部B方式と同様です。

なお、1996年度入試では商学部B方式として実施した簿記1科目試験を、97年度からは簿記特別試験として行うこととし、募集人員も若干増加されました。

- ◆英米語学科B方式=従来実施してきた英語、国語の2教科入試(A方式とする)に加え、英語、国語、地歴(日本史B又は世界史B)の3教科による受験となります。英語のウエイトが高いA方式と異なり、各教科にバランスのとれた学力を持つ受験生が有利になるでしょう。出願期間はA・Bとも同一ですが、試験日が異なるので併願も可能です。

- ②数学の出題範囲=数学は(数学I・数学A)が試験科目ですが、旧課程で履修した受験生との不公平をなくすため、旧課程の(数学I)と共通した範囲に限り出題します。

- ③外国語学部中国語学科の試験会場を3会場から10会場に増設します。

経済学部・商学部					
学科	区分	募集人員	出願期間(学印有効)	試験日	試験地
経済学科	A方式	約210名	1/9~1/23	2月1日(土)	欄外参照
	B方式	約45名	2/10~2/18	2月24日(月)	
商学科	A方式	約20名	1/9~1/23	2月2日(日)	
	B方式	約30名	2/10~2/18	2月24日(月)	
	簿記特別	約20名	1/9~1/23	2月4日(火)	
経済学科	一般推薦	約80名	1996年 11/1~11/1	11月23日(土)	本学
商学科	一般推薦	約60名			

A方式試験地 = 本学・東京・浜松・豊橋・大垣・津・金沢・大阪・岡山・福岡
 簿記特別試験

B方式試験地 = 本学・東京・浜松・大垣・津・金沢・大阪

外国語学部					
学科	区分	募集人員	出願期間(学印有効)	試験日	試験地
英米語学科	A方式	約65名	1/9~1/23	2月4日(火)	欄外参照
	B方式	約25名		2月1日(土)	
中国語学科		約30名		2月2日(日)	

外国語学部試験地=本学・東京・浜松・豊橋・大垣・津・金沢・大阪・岡山・福岡

●受験料35,000円



名古屋学院100年の
 歩みが連載!!
 2014年5月号
 敬神愛人
 敬神愛人
 敬神愛人

恩師との思い出

学生時代お世話になった早川洋一先生との青春！

株式会社 安田商店
代表取締役 安田憲光（70年卒）

当時は大卒のグラウンドにお
いて体育の授業があった。早川
先生もトレハンをはいてグラウ
ンドに来ていただいたことを覚
えています。

私は家業を継ぐ為に「大学だ
け卒業」という目標しかなか
った。そんな時2年生になって校
舎が品野台に移ってからアメリ
カンフットボール部という同好
会があったので、自分の体力を
ためたいと思いい入会してみま
した。キャプテンに土田君（現
在土田家具センター社長）が早
川先生にお願ひしたところ先生
の教え子である有本氏（現在

「うなぎの有本」店主）（立教大
アメリカンフットボール部O
B）を紹介して下さいました。
※当時学校からバスを出して
の下で我々は練習をした。先生
の力で同好会が1年余りで部に
昇格できました。※同じ頃愛知
学院大学にもクラブが出来今日
の東海地区におけるアメリカン
フットボールの先駆的な立場に
なっております。現在東海学生

現役が創部以来部長をして頂い
た先生に花を添えました。長い
間コンバにはかならず出席され
学生の相談にも、トラブルをお
こした時にもよく面倒みて下さ
いました。年々新しい学生と接
られていきます。コンバで先生に
合うたびフレッシュな考え方が
とても勉強になります。

三十数年ほどにお世話にな
りました。これからも元気にア
メリカンフットボールを見に来
て下さるよう希望しています。

安田憲光

活躍する卒業生

富士特殊紙業株式会社
川村恵子さん(93年卒)



社会人になって4年になろうと
しています。右も左もわからず
言われるがままに働いた1年目、
2年目から見れば、自分で仕
事の段取りを組み、落ち着いて仕
事ができるようになりました。（あ
まづく事が多々あると思いますが、
キャンパスで学んだ事を生活に活
かして、前向きに進んでいきたい
です。

今現在は経営企画室に所属し、
主な仕事としては、秘書をしてい
ます。得意先などのトップと接す
る事が多い為、慎重さを要求さ
れ言葉使いひとつにしても気を使
います。大学での剣道部時代に、
先輩に指導して頂いた事が、
役に立っています。

ご存知の方もいらっしゃるかと
思いますが今年4月に関連事業
として、名古屋市西区に輸入住
宅展示場「LEAFES」をオープンさ
せました。微力ながらこの事業に
携わる事ができ、オープンまでの

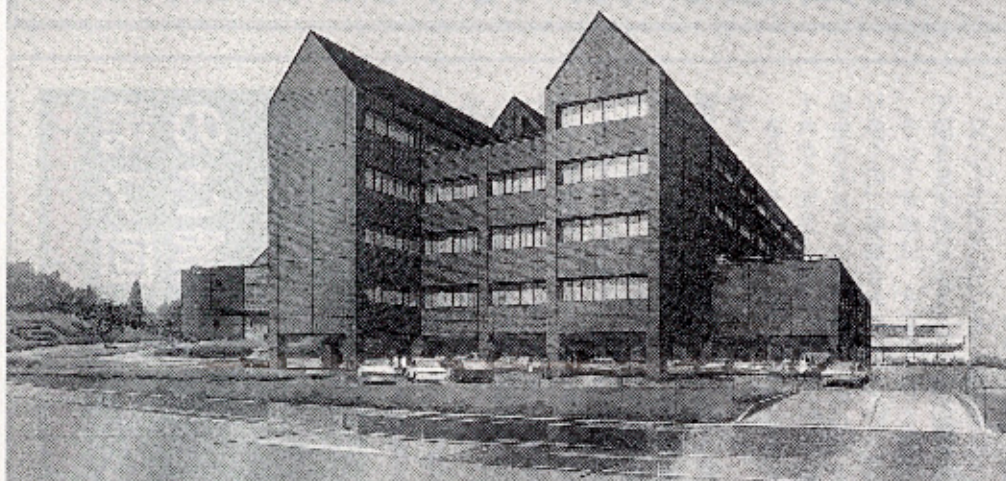


大学院の設置認可申請

かねてからの念願であった大学院の設置について、来年四月開設をめざし準備を進めて来たが、去る六月末に文部省へ大学院経済経営研究科（経済学専攻・経営政策専攻）および外国語学研究所（英語学専攻）の二研究科三専攻の申請を行いました。

本年十二月に許可される予定です。

大学院棟完成予想図



大学院棟建設工事および学生駐車場造成工事 起工式行われる!

去る四月二十二日、日本学大学院棟建設工事および学生駐車場の造成工事の起工式が盛大に行われました。梶原芳宗教育部長が司式のもと内山理事長より工事関係者への謝辞と経過報告の後、鍛入れ式が行われた。横井学長から大学院の申請業務の進捗状況と品野台にこだまする大学発展の建設の誓いに対する喜びの言葉があった。最後に全員で工事の無事を祈った。



大学院棟の建設工事は平成9年2月末日の完成を目途に進められている。大学院棟の2、3階は主として情報処理関係の施設となっており、全学の学生が利用することとなる。大学院関係としては3階に講義室1室、4階に講義室11室及び大学院事務室兼講師控室を配置し、5階には学生用研究室3室と図書室が設けられる。また4階、5階の一部には教員の個人研究室11室も設けられる。

大学院棟のネーミングが決定

大学院棟の建設に伴いかねてより学内にネーミングの公募を行っていたが、この度下記通り決定しましたのでご報告いたします。

名称：嗣業館(シギョウカン)

出典：詩經 16篇 5~6

「割り餅は 濡しい地を示し わたしは輝かしい嗣業をうけました。」

【嗣業】

親から受け継いだ土地・財産・家督などをいうが、聖書では神から与えられる「賜物(たまもの)」すべてを指す。賜物は個人の所有物ではなく、神から受け継ぎ、ゆするべきもの。神の国(の真理)を受け継ぎ、ゆすることが最高の祝福である。

大学院棟建設工事ならびに学生駐車場造成工事概要

	大学院棟建設工事	学生駐車場造成工事
工期	1996年4月22日-1997年2月28日	1996年4月22日-1996年11月30日
場所	図書館東側 教職員駐車場	川陸上競技場
設計	梶原分設計	
施工	萩熊谷組	萩熊谷組
構造	鉄筋コンクリート造5階建	アスファルト舗装
面積	3,841.07㎡(1,164坪)	27,332㎡(1,200台収容)
工費	1,004,250千円	324,450千円

大学院棟案内

階(面積)	室名	室数	
R階 (37.79㎡)	共用スペース		
5階 (894.65㎡)	教員個人研究室	7	
	大学院生用研究室 (24人)	3	
4階 (829.25㎡)	図書室・談話室	1	
	大学院事務室・講師控室	1	
	教員個人研究室	1	
	大講義室 (50人)	1	
	中講義室 (30人)	1	
	小講義室 (10人)	7	
	講義室 (20人)	2	
	3階 (829.25㎡)	教員合同研究室 16人	1
		中講義室 (20人)	1
		会議室① 6人 ② 64人 ③ 24人	3
計算機室		1	
教職員端末室		1	
2階 (1273.46㎡)	倉庫	1	
	教育研究・事務開発・休憩室	1	
	マニュアル資料室	1	
	教育端末室 (60人)	3	
	演習室 (32人)	2	
2階	学生I/O室	1	
	1階 (171.67㎡)	機械室・電気室	1
計	3,841.07㎡		

大学院用は4階・5階部 (1,316.37㎡)
 情報教育センター用は2階・3階部 (1,795.60㎡)
 教員個人研究室・会議室用は5階・4階・3階部 (729.10㎡)